

特集

# 瑞穂町文化連盟の皆さま & 町議会

瑞穂町文化連盟は設立から55年、平成31年に50周年の式典が行われました。文化連盟は現在7団体(歌謡曲部・水墨会・吟詠部・舞踊部・フラダンス部・華道会・囲碁部)、263名の会員で構成されています。今回、文化連盟の4団体の代表者にお話をお伺いしました。

## 人との出会い、発見や学びを楽しみたい方 大歓迎

Qそれぞれ活動されていることや魅力を教えてください。

—歌謡曲部では演歌が多いかな。心に響く歌詞、日本語の美しさとか感じますね。ちなみに私の十八番は北島三郎さんの「川」です。

—吟詠部では、自ら吟じる楽しみと、詩吟を広める活動をしています。詩吟を通じて礼節や親子の情愛などが伝わってきます。

—日本舞踊部も、日本舞踊の魅力を伝える活動をしております。日本舞踊というと、とてもお金が掛かるようなイメージを持たれている方が多くいらっしゃいますが、実際はそんなことはありません。歌謡曲を使って踊ったり

しているので、手軽にできますよ。

—水墨会も水墨の魅力を伝える活動をしています。水墨画は墨の濃淡のみで表現します。墨をすり、出来上がった墨に水を加えて色を調整していきます。その調整が思うようにできてよい絵が描けることが本当につれしいです。

Q始められたきっかけは何ですか？

—もともとは町内会で仲良くなった仲間と歌謡の愛好会を作ったことから。

—高校卒業後の初めての同窓会に参加した時、大学の詩吟部に所属している友人が、詩吟を披露したんですが、それにとっても感動しまし

Qこれだけは皆さんに伝えたいと思う魅力は何ですか？

—いろんな経験や人生を歩んでこられた方々との交流ですね。人との交流を通じて、文化の発展や普及ができたらうれしいです。

—大きな声を出して吟じるので、ストレス解消につながります。腹式呼吸は喉も鍛えるので、肺機能や嚥下能力が上がっている気がします。暗記をして吟じるので記憶力も鍛えられますし、集中力もついたと思います。健康に良いですよ。それと、同じ趣味を持つ仲間がでけるのも魅力です。

—年齢とともに体の節々が…。でも、踊っていると集中するので、体の痛みなどを気にせず踊れるんです。これって「ハ、ピリ」かな(笑)。それと、踊りを創作するときなど頭をフル回転させるので脳トレにもなっているかも。それに没頭すると、くよくよ考える暇がないので、ポジティブになってきます。これって魅力ですよ。

—水墨画は色を付けないので簡単に始めることができます。墨の濃淡だけで描こうと想像を巡らすと自然の持つ美しさに気付かれます。道端に咲いている花にも命や個性を感じられるようになります。

Q今取り組まれていることは何ですか？

—自分に合った楽しみを見つけて、人との交流を気軽に行えるような文化連盟でありたいと思います。PR活動を続けています。



—とつづくにくい漢詩を分かりやすく表現するように意識しています。歌謡曲の間に詩吟を挟んだ「歌謡詩吟」や語りと詩吟を組み合わせた「語り吟」などにも取り組んでいます。

—発表するのに適している場所探しですね。大きすぎてもやりにくいし、小さい場所だと人が呼べない…。さらに防音機能付きでない。読者の皆さんでいい場所があったら教えてください。

—水墨会の魅力をたくさんの方々には伝えたい。総合文化祭などで、一つでも多くの作品が展示できるように頑張っています。

Q読者の皆さまへメッセージを。

—今の文化連盟に無いジャンルであっても、文化連盟に参加してもらいたいと考えています。人との出会い、発見や学びを楽しみたいと思っている方大歓迎です。

—楽しくなければ続けることはできません。楽しい稽古を心掛けておりますので、ぜひ一度見学に来てください。

—日本舞踊は敷居が高いイメージを皆さんお持ちですが、体操をするようなつもりで、一度体験しに来てください。見学でも構いません。水墨画はちょっとした筆使いのこつを覚えることができますので、武蔵野コミュニティセンターへ一度見に来てください。

皆さまの活躍を楽しみにしています。

ご協力ありがとうございます。



歌謡曲部で演歌を歌う  
服部 重守 会長



詩吟は健康にも良いと話す  
猪俣 正興さん



日本舞踊の魅力にとりこになった  
野村 悦子さん



墨の濃淡で描く山水画に心も滲ませる  
谷口 三枝さん